



目指す学校像	新たな時代に向けて、伝統ある進学校としての期待に応えつつ、自主自立の校風を継承・発展させ、リーダーとなる良識ある人材を育成する。
--------	--

重点目標	<p>1 文武両道—学力向上と特別活動等を両立させ、高い目標に果敢にチャレンジする生徒を育成する。</p> <p>2 自己実現—様々な機会を通して視野を広めつつ、高い「志」を実現できる生徒・グローバルに活躍できる生徒を育成する。</p> <p>3 情報発信—積極的に情報を発信して、生徒・保護者・地域等からの期待と信頼に応える学校づくりを推進する。</p>
------	--

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

学校自己評価					学校関係者評価		
年度目標					年度評価(月日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	○学力向上の取組と進学指導の結果、進学状況は良い方向に進んでいる。新学習指導要領の対応を含め、質の高い授業と体系的な指導を継続する必要がある。	自立した学習者を育成する。高度な授業内容の構築と指導方法の工夫、改善をする。第一志望の進学者を増やす。	①入学当初から、学習法講座や卒業生講話を実施し、長期休業中の講習を含め授業以外の学習にも目を向けさせる。 ②主体的対話的で深い学びやICTを活用した学習を実践するなど、授業改善に取り組む。 ③進学情報収集と生徒への情報提供をこまめに行う。	①自主ゼミ・進学講習の開講状況及び参加状況の変化 ②「授業に関する生徒アンケート」結果の変化 ③国公立大学、上位難関私立大学の合格者数の変化			
	○行事、部活動ともに生徒は積極的に取り組んでいる。地域と連携した活動を増やし、生徒の成長を促す。	教職員一人一人が高い意識を持ち、特別活動等の質の向上を図る	①校内組織の連携を密にし、さらに行事等を活性化させる。 ②地域との連携を視野に入れた活動を行う。	①「授業に関する生徒アンケート」結果の変化 ②地域と連携した活動状況の変化			
2	○生徒は切磋琢磨しながら充実した学校生活を送っている。新たな時代のリーダーとなる資質の向上を図り、高い「志」を実現させる取組を活性化させる必要がある。	グローバルな視点で養育事業等を充実させ、生徒が高い志や目標にチャレンジする気概を育てる。	①本校の国際交流事業への参加を勧め、学校外の力も活用し生徒の意欲を高める。 ②「総合的な探究の時間」、「サイエンス探究事業」において主体的な学びを実践する。	①国際交流事業(エンバワメントプログラム、異文化理解交流等)の参加状況と生徒の参加前後の意識変化 ②参加生徒の事前事後研修への意識・意欲の変化と成果の全校生徒への還元			
	○学習習慣の確立のため、家庭と情報共有しながら協力してきめ細かい学習指導、進路指導を行う必要がある。	校内指導の体制を連動させて、高い次元での進路希望を実現させる。	①進路指導部を中心に大学入試情報等の共有を密に行い、有機的な対応を行う。 ②各学年の指導内容等の情報を共有するため、外部の説明会等へ積極的に参加する。	①模試分析、各行事での生徒・保護者・参加者によるアンケート結果の変化 ②参加状況と情報の活用状況の変化			
3	○保護者向けに各年次からきめ細かく情報発信が行われている。地域に対しても効率的な広報をさらに進める必要がある。	本校の教育活動の情報発信を行う。生徒保護者・地域社会等からの反応、参加がある。	①入試広報部を中心に学校説明会、進学フェア、土曜学校説明会等の広報を行い、各行事を発展させる。 ②「年次通信」を活用し保護者向けの情報発信をさらに進める。 ③メディア等の活用を行う。 ④ホームページを更新する。	①学校案内やポスター内容の作成時期及びアンケート評価、ホームページの閲覧数の変化 ②土曜公開授業見学者人数およびアンケート結果の変化 ③メディアでの掲載数の変化 ④ホームページの更新数の変化			
	○感染拡大防止対策を徹底し、生徒が安全に学校生活を送れる仕組みを構築した。安心安全な学校づくりを一層進めていく必要がある。	学習・生活環境を一層整備し向上させる。	①校内の安全点検等を通じ危険箇所や破損施設の改善を迅速に行う。 ②一斉メールの運用やホームページでの緊急連絡など、危機管理体制を構築し、緊急時生徒用備蓄品を整備する。	①対応が必要な施設設備の改善状況 ②清掃活動の変化 ③一斉メールの活用状況、緊急時生徒備蓄品の整備状況			

実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	